

## 「DeviceLock」および「MylogStar 3」両製品をご利用のお客様へ

### はじめに

平素より弊社製品「DeviceLock」および「MylogStar 3」をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。

「DeviceLock」および「MylogStar 3」を同一のコンピューターにインストールしてご利用するお客様におかれましては、一部機能において競合が確認されておりますので、予めその競合内容と運用回避方法についてご確認のうえ、ご購入または運用回避をご検討くださいますようお願い申し上げます。

なお、本文中における「MylogStar 3」は、特に記載が無い限り「MylogStar 3 Network」「MylogStar 3 Desktop」「MylogStar FileServer」を全て対象とした内容となりますのでご注意ください。

### 「DeviceLock」と「MylogStar 3」の同居における競合について

「DeviceLock」と「MylogStar 3」を同一のコンピューターにインストールした際に、一部の機能について以下のような競合が発生することが確認されております。

1. 「DeviceLock」の有償オプションライセンスの機能である「NetworkLock」について、「NetworkLock」側で制御するプロトコル（ポート番号）と、「MylogStar 3」側で監視するポート番号が同じ番号であった場合、「NetworkLock」側のアクセス制御において制限対象となるユーザーは、全て「system」ユーザーのみ有効となる。

この事象については、以下の各製品仕様によるものであり、現状においては前述の競合を回避して、両製品の機能を全て使えるようにするための方法はございません。

#### 【製品仕様】

「MylogStar 3」に含まれる「MylogStar 3 Agent」は、コンピューター内で指定されたポート番号の通信を監視するために、内部で「プロキシサービス」を起動し、該当する通信はこの「プロキシサービス」を経由させるようにします。

例として、あるユーザーが Web ブラウザを起動してインターネットアクセスを行ったとしても、「MylogStar 3 Agent」側でこのインターネットアクセスを監視している場合は、「プロキシサービス」に転送されてしまいます。

## 株式会社 ラネクシー®

この「プロキシサービス」は「system」ユーザーで起動されているため、結果として、そのコンピューターから外部ネットワークにインターネットアクセスを行っているプログラムは「プロキシサービス」となり、実行ユーザーは「system」ユーザーとなります。

「DeviceLock」の「NetworkLock」では、アクセス制御を行う際にユーザーやグループ単位で細かくアクセス制御を行うことができますが、前述のように「MylogStar 3 Agent」の「プロキシサービス」を経由する通信は全て「system」ユーザーのアクセスとなってしまうため、「NetworkLock」側で実際のユーザーやグループ単位でアクセス制御を行っても、その設定どおりに動作しないこととなります。

この事象については、以下の2つのうちいずれかの運用回避を行うことにより、いずれかの製品について当初の機能どおりに動作させることができますが、もう一方の製品については機能が使えなくなる事となります。

### 【運用回避方法と使えなくなる機能】

1. 「NetworkLock」側で「system」ユーザーとしてのみアクセス許可設定を行う。
  - ユーザーやグループ単位での詳細なアクセス制御を行うことができず、そのコンピューター全体としてのアクセス制御となります。
2. 「MylogStar 3」側で監視するポート番号から、「NetworkLock」と競合するポート番号を外す。
  - 「MylogStar 3」側で対象となるポート番号の通信ログが取得できなくなりますが、「NetworkLock」側のアクセス制御は当初の機能どおり使用することができます。  
通信ログが取得できない事に対する代替案としては、「NetworkLock」側で監査ログを取得することとなります。

## お問い合わせ先

本事象につきましてご不明な点がございましたら、弊社営業までお問い合わせください。

以上